

事業報告

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

1.総括的概要

我が国の経済は、「GDP8期連続プラス成長」と報道されておりますが、そこから受けるイメージほど決して好調とはいえず、成長要因は米国向けなどの輸出で補う「外需」によるものがやはり多いことに対し、国民の暮らしに直結する個人消費いわゆる「内需」は底堅く推移しているというものの、年金保険料の引き上げや消費税の増税等で、より一層可処分所得が減少していくことが予測される今、好景気という言葉にはあまり実感を得られていないことが実情です。地方の小規模企業においては未だに深刻な状況であり、人手不足や賃金上昇が経営を圧迫する一方で、政府の方針による「働き方改革」との整合性を図らなくてはならず、経営者は日々努力を重ねておりますが、有効な手立てを見つけれず苦勞しているのが現実です。このような商環境の中で、少しでも地域振興・活性化の一助となれるよう、私どもは部員一丸となってアイデアと情熱を注ぎ、この一年間取り組んでまいりました。

まず、主管を務めました『第63回みさわ七夕まつり』では、3日間ともに多くの方々にご来場いただき、中心商店街が活気に溢れました。初日は悪天候にもかかわらず、メインゲストイベントでは他県からの来場もあり、大いに盛り上がりを見せました。2日目のダンスコンテスト、3日目の3on3バスケットボールトーナメント等、各種イベントも大盛況のうちに終えることができました。

『クリスマスフェスティバル』の飾り付けでは、アーケード商店街のクリスマスムードを高めるため公園2か所の飾り付けを実施し、市民がイルミネーションを見に夜の街へ足を運ぶきっかけをつくることができました。並行して行いました『あなたのやさしさを届けます』事業では、児童施設の子供たちへサンタクロースに扮した青年部員が、青年部OBをはじめ沢山のの方々からいただいた善意をプレゼントに託して贈ることができ、笑顔溢れるイベントとなりました。

今年度の委員会事業につきましては、3委員会を設けて各事業に取り組んでまいりました。【総務・部員拡大委員会】では、総会・忘年会の準備運営、また我々青年部の活動をもっと多くの方に知ってもらうためにホームページ・SNSを使って情報発信してまいりました。【地域交流委員会】では、5回目となる「みさわカップリングパーティー」において、初めてとなる2店舗での開催を成功させることができました。また、新たな試みとして国際交流・日米親睦を図るべく、日本伝統の「餅つき大会」を米国人親子対象に開催し、大変好評をいただきました。【50周年準備委員会】では、他地域の青年部による周年の式典やイベントに積極的に参加して学び、私ども三沢市商工会青年部の来たる50周年イベントが素晴らしいものになるよう準備してまいりました。

今年度スローガンに掲げました「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を全部員が意識し実践してくれたことで、まとまったひとつの「チーム」として、地域の発展を思い、皆で助け合い、滞りなく事業を進めることができました。また、活動を通して部員それぞれが多くを学び、来年度の50周年へ向けて大きく士気を高められた一年でもありました。そして、結果としてここで学んだことを本業に活かしながら成長し、個々の事業所の成長が集まれば、我々が日々思う地域の発展にも繋がっていくはずです。

結びに、当青年部が今年度無事に活動できましたのも、偏に関係各所皆様の多大なるご理解ご協力のおかげと、心より感謝いたしております。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 三沢市商工会青年部
部長 山本 暁朋